

# 国のかたちを 考える

司馬遼太郎が『この国のかたち』で言ったように、日本は古来、職人の技が尊敬された重職主義の国だ。その伝統を受け継いでいくべきだと言いたいところだが、一方で「匠(たくみ)の呪縛」という指摘がある。熟練の技能や経験といった匠の技に頼り、ソフトウェアや普遍的な枠組み、理論

## 職業能力開発総合大学校長

### 圓川 隆夫氏

(えんかわ・たかお) 1949年11月27日生まれ。山口県出身。75年東工大大学院修士課程修了、80年に工学博士となり、大学院イノベーションマネジメント研究科長などを歴任。専門は品質管理、サプライチェーンマネジメント。2016年から現職。



を苦手としてきた。ものづくりは日本の強みだし、匠も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

研究者たちが共同執筆した『技能科学入門』(PTU)も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

## 技能を科学することが発展に

を苦手としてきた。ものづくりは日本の強みだし、匠も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

研究者たちが共同執筆した『技能科学入門』(PTU)も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

を苦手としてきた。ものづくりは日本の強みだし、匠も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

を苦手としてきた。ものづくりは日本の強みだし、匠も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

研究者たちが共同執筆した『技能科学入門』(PTU)も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

を苦手としてきた。ものづくりは日本の強みだし、匠も存在する。技能をベースにIOT(モノのインターネット)を取り入れるなどして生産性を高めることは、日本が発展していく上での課題になるだろう。

